

■コメント

1. 流行性角結膜炎

定点当たり2.00人と、前週と比べて増加しました。
この疾患はアデノウイルスを原因とする急性の結膜炎で、その感染力は強く、家庭内や職場などでの集団感染を引き起こすことがありますので、注意が必要です。

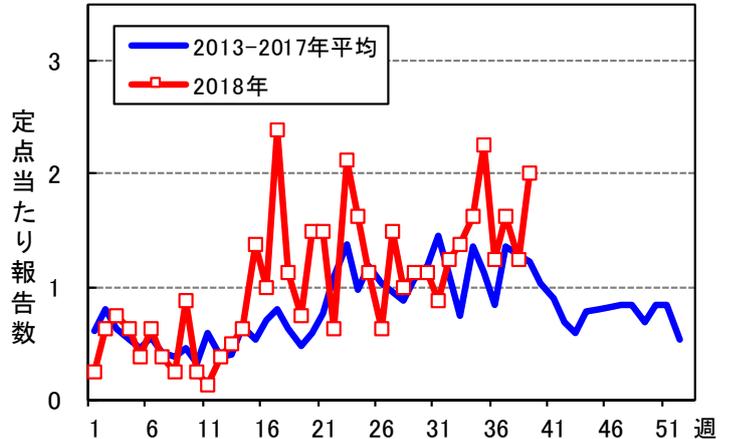
2. インフルエンザ

定点医療機関から7人(定点当たり0.19人、迅速診断キット:すべてA型陽性)の報告がありました。
また、10月2日(第40週)に、広島市で今シーズン初めてのインフルエンザ様疾患による学級閉鎖が報告されています(安佐南区の幼稚園)。

3. レジオネラ症

1件の報告があり、今年の累計は30件となりました。(次頁参照)

流行性角結膜炎の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィリン	インフルエンザ	7	0.19	0.16		小児科	流行性耳下腺炎	9	0.38	0.64	
	咽頭結膜熱	4	0.17	0.33			RSウイルス感染症	31	1.29	1.30	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	42	1.75	1.35		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	91	3.79	3.86			流行性角結膜炎	16	2.00	1.23	
	水痘	3	0.13	0.46		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	手足口病	47	1.96	1.58			無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	伝染性紅斑	2	0.08	0.17			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.26	
	突発性発しん	4	0.17	0.34			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	13	0.54	0.30			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
4	E型肝炎	1	4	男性(70歳代)
4	レジオネラ症	1	30	男性(60歳代)
5	アメーバ赤痢	1	8	男性(50歳代)
5	梅毒	5	87	女性(10歳代)・1人、男性(30歳代)・1人、女性(30歳代)・1人、男性(50歳代)・2人
5	百日咳	2	44	男性(60歳代)、男性(70歳代)
5	風しん	1	8	男性(20歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス) 感染性胃腸炎
			第35週	-	10	46	111	7	35	2	16	16	4	48	1	18	-	-	1	-
第36週	-	9	54	99	7	39	-	11	20	3	46	-	10	-	-	-	-	-	1	
第37週	2	6	48	128	8	63	2	13	17	7	32	-	13	-	-	-	-	-	-	
第38週	-	6	36	87	2	56	3	7	7	4	25	-	10	-	-	2	-	-	-	
第39週	7	4	42	91	3	47	2	4	13	9	31	-	16	-	-	-	-	-	-	
定点当たり	広島市	第35週	-	0.42	1.92	4.63	0.29	1.46	0.08	0.67	0.67	0.17	2.00	0.13	2.25	-	-	0.14	-	0.14
		第36週	-	0.38	2.25	4.13	0.29	1.63	-	0.46	0.83	0.13	1.92	-	1.25	-	-	-	-	0.14
全国	第37週	第37週	0.05	0.25	2.00	5.33	0.33	2.63	0.08	0.54	0.71	0.29	1.33	-	1.63	-	-	-	-	-
		第38週	-	0.25	1.50	3.63	0.08	2.33	0.13	0.29	0.29	0.17	1.04	-	1.25	-	-	0.29	-	-
全国	第39週	第39週	0.19	0.17	1.75	3.79	0.13	1.96	0.08	0.17	0.54	0.38	1.29	-	2.00	-	-	-	-	-
		第37週	0.13	0.35	1.38	3.65	0.22	1.14	0.32	0.44	1.45	0.13	2.46	0.01	1.06	0.01	0.05	0.24	-	0.02
全国	第38週	第38週	0.14	0.28	1.18	3.15	0.22	1.01	0.28	0.42	1.04	0.12	2.11	0.01	1.02	0.01	0.05	0.24	-	0.01

* 百日咳は、2018年1月1日から5類感染症(全数把握疾患)に変更になりました。

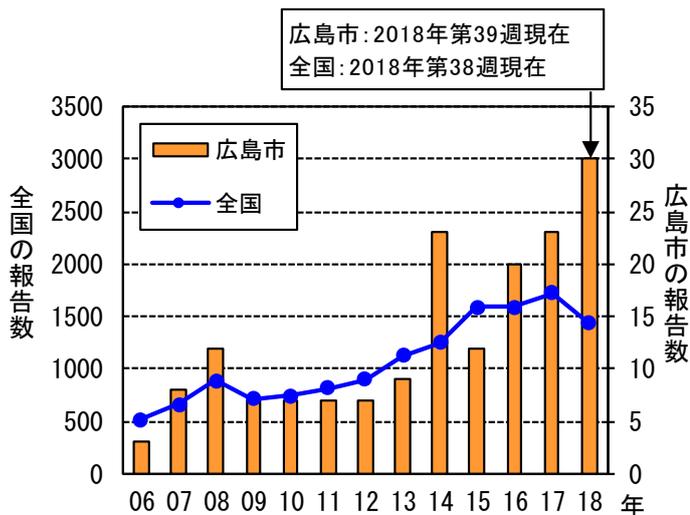
■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	発熱(40.0) 肺炎 下痢 鼻炎	1	男	2018/07/02	糞便	アデノウイルス41型
感染性胃腸炎	下痢	0	女	2018/08/18	糞便	エコーウイルス11型
感染性胃腸炎	発熱(39.7) 嘔吐 下痢 腹痛	4	男	2018/08/20	糞便	アデノウイルス2型
流行性角結膜炎	結膜充血 眼脂 眼瞼腫脹	37	女	2018/08/01	結膜擦過物	アデノウイルス54型
流行性角結膜炎	結膜炎 濾胞性瞼結膜 充血	25	男	2018/08/12	結膜擦過物	アデノウイルス56型
流行性角結膜炎	結膜炎	39	男	2018/08/13	結膜擦過物	アデノウイルス54型
流行性角結膜炎	結膜炎 結膜浮腫 流涙 充血	87	女	2018/08/14	結膜擦過物	アデノウイルス54型
流行性角結膜炎	結膜炎 瞼結膜の充血	67	男	2018/08/17	結膜擦過物	アデノウイルス54型
その他の眼疾患	結膜充血 眼脂 流涙 瞼結膜の発赤	70	女	2018/08/18	結膜擦過物	アデノウイルス54型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市及び全国におけるレジオネラ症の年間報告数の推移



広島市におけるレジオネラ症の今年の報告数は、第39週で30件となり、すでに過去最多だった昨年の年間報告数(23件)を上回りました。患者のうち、50歳以上の男性が25件と83%を占めています。全国的にも中高年の男性に多い傾向がみられます。

レジオネラ症は、河川や土壌など自然界に生息するレジオネラ属菌による感染症で、レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル(細かい水のしぶき)を吸入することによって発症し、肺炎型とポンティアック熱型に分けられます。レジオネラ肺炎は2~10日の潜伏期間の後、咳、38℃以上の高熱、悪寒、胸痛、呼吸困難が出現し、胸部X線で肺陰影の所見が認められます。

国内では、循環式浴槽や加湿器の使用による感染事例の報告があり、適切な維持管理が必要です。また、屋外作業中に、舞上がった土ぼこりや水を吸い込むことで感染することもあるため、作業に従事する際には、マスクを着用しましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2018年第39週(9月24日~9月30日)